



夏季手当のたたかいに向けて①～赤字だからしょうがなくはない～

夏季手当に向けて、収入の状況はどうなってるの？

JR東日本 2021年度期末決算について

JR東日本は2021年度期末決算を発表し、企業が一年間に生み出した最終的な利益である「当期純利益」は単体で991億円、連結で949億円の赤字と発表。通期での赤字は2年連続となる。

→これで二年連続の赤字。夏季手当の支払いに対し、会社は赤字だから厳しいと展開してくる可能性大・・・。

しかし、よく見て下さい！赤字という言葉だけに惑わされてはいけません。前年度からこんなにも収入は増加してるんですよ！

(連結決算)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2021年3月期実績値	1兆7,645億円	△5,203億円	△5,797億円	△5,779億円
2022年3月期実績値	1兆9,789億円	△1,539億円	△1,795億円	△949億円
前期からの増減額	↑ 2,144億円	↑ 3,664億円	↑ 4,002億円	↑ 4,830億円

(単体決算)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2021年3月期実績値	1兆1,841億円	△4,785億円	△5,177億円	△5,066億円
2022年3月期実績値	1兆4,241億円	△1,495億円	△1,777億円	△991億円
前期からの増減額	↑ 2,400億円	↑ 3,290億円	↑ 3,400億円	↑ 4,075億円

【さらに、今後の収入の回復が予想される要因として】

- ①今後の鉄道利用者数については、22年度末までに新幹線などの中長距離利用がコロナ前の約90%、通勤などの近距離利用は90~95%まで回復する見込み
- ②2023年3月期の連結最終損益は、3年ぶりに黒字に転換し、600億円の黒字予想。

**ここまで収入が増加したのは現場で働く組合員の奮闘があってこそ！
更なる収入の回復が予想される中で、2022年の夏季手当は“昨年と同等”とは決して言えませんよね！？**

組合員の奮闘に報いるためにも、職場から対話を基に議論を行い、夏季手当獲得に向けて、たたかいをつくり出そう！